

## 当院の規定

# 精巣内精子採取術(TESE)に関する説明書

文看-51: 精巣内精子採取術(TESE)に関する説明書(1版2014年8月)

以下は精巣内精子採取術(TESE)に関する説明です。精巣内精子採取術(TESE)に関する同意書をご記入の際は、この説明文も併せてお読みください。

### 1 精巣内精子採取術とは ※適用条件

精巣(睾丸)から精子を採取する方法で、非閉塞性無精子症・閉塞性無精子症・極端な乏精子症・無力症・奇形精子症・射精障害・逆行性射精、などの場合に行います。

### 2 手術の方法

手術は局所麻酔下にて片側睾丸のみ行います。左右どちらかの睾丸から採取するかは当日医師が決定します。麻酔効果発現後、陰囊の皮膚を切開し精巣から精細管(精細管内の内腔で精子が作られている)の一部を採取します。採取した精細管は胚培養士が検鏡し、顕微授精用に凍結保存されます。創は吸収糸で縫合し手術を終了します。この糸は自然吸収されますので抜糸の必要はありません。採取手術後、通常は1時間半～2時間以内で終了します。翌日創部のチェックと凍結保存精子の説明のため、来院が必要になります。

### 3 危険性と副作用

精巣内精子採取術の実施時に起こる危険性と副作用、手術合併症には以下のものが挙げられます。

- 1)痛み: 通常手術直後より数日間の痛みが出現します。場合により数週間続くこともあります。痛みどめにより対応します。
- 2)出血: 内出血により陰囊が腫れることがあります。
- 3)感染・創開離: 創が化膿したり開いたりして再手術になる場合があります。
- 4)精巣萎縮: 手術後に精巣が萎縮し小さくなる場合があります。

### 4 子孫への影響

子孫への影響として、無精子症や高度乏精子症の男性15%にY染色体上の精子を造る遺伝子異常があり、この場合には、TESEで生まれた男子に同じ遺伝子が受け継がれ男性不妊となります。染色体異常による男性不妊は、染色体異常が子供に伝わる可能性があります。

### 5 精子が認められた場合

凍結保存の方法と費用、凍結保存期間、保存期間の更新方法と費用、最長保存期間、夫が死亡・行方不明の場合の届出の義務、夫婦が離婚した場合の精子の取扱い等、精子凍結に関する規定は当院のホームページ、書類ダウンロードのページに記載されております[精子凍結保存及び凍結保存継続に関する説明書]に準じます。

## 手術日程

・手術日は、\_\_\_\_月\_\_\_\_日(木)13時を予定しております。  
12時30分までに当院に来院して下さい。

・手術を行う週に最終の体調確認を致しますので

\_\_\_\_月\_\_\_\_日(月)または \_\_\_\_月\_\_\_\_日(火)の診療時間までに、お手数ですが  
看護師( )宛てにお電話にてご連絡下さい。☎03-3470-4211または0120-66-4221

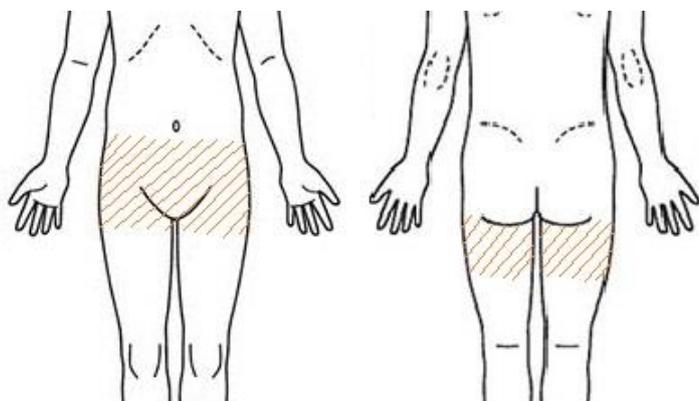
・手術の前日、もしくは当日の朝に、手術部位の剃毛を行って下さい。(下図参照)

## 持ち物

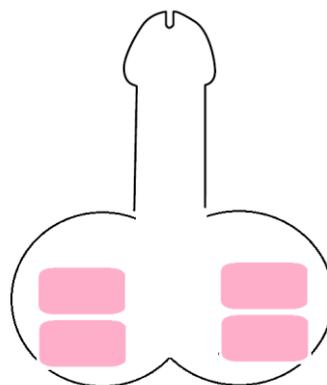
・同意書(未提出の場合)

## 手術日当日

- ・当日の服装は、大きめのトランクス、ゆるめのズボンでお越しください。
- ・当日の午前9時以降は禁食となります。飲水は構いません。
- ・当日11時に局所麻酔のテープ(ペンレス)を手術部位に貼ってください。(下図参照)
- ・手術は局所麻酔で行い、点滴も行います。麻酔時間を含めて1時間半～2時間程度で終了します。歯科での麻酔で気持ち悪くなったり、薬剤アレルギーなどがある場合には、看護師にお知らせください。
- ・傷痕は1cm程度です。当日は絆創膏でしっかり固定し、手術後1～2時間程度ベッドでお休み頂き、体調を確認してから夕方4時頃の退院となります。
- ・手術直後の車・バイクの運転はしないでください。
- ・お薬は2種類お渡ししますので、指示通りにお飲みください。  
セフspan[抗生物質] 1日2回(朝・夕食後)4日間  
ロキソニン[鎮痛剤] 1日2回(朝・夕食後)4日間



※剃毛箇所(斜線部)



※局所麻酔のテープ貼り位置

## 手術後の日常生活について

- 手術日当日  
比較的安静にお過ごしください。創部は翌日までテープで圧迫固定を行います。食事は普段通りで制限はありません。シャワー・入浴は禁止となります。
- 翌日  
診察時間内にご来院頂き、創部の消毒を行います。消毒後は絆創膏をお貼りします。この絆創膏ははがれるまで貼っておいてください。はがれた後は消毒やテープ保護の必要はありません。
- 3日後  
シャワーが可能になります。
- 1週間後  
入浴や運動、性交渉が可能になります。(それまではお控えください。)
- その他  
縫合糸は自然と体内に吸収され、ほどけるように取れていきますので、抜糸の必要はありません。吸収されるまで2ヵ月～数ヵ月かかる方もいます。

※ご不明点などございましたら、お電話またはご来院時にご質問ください。